

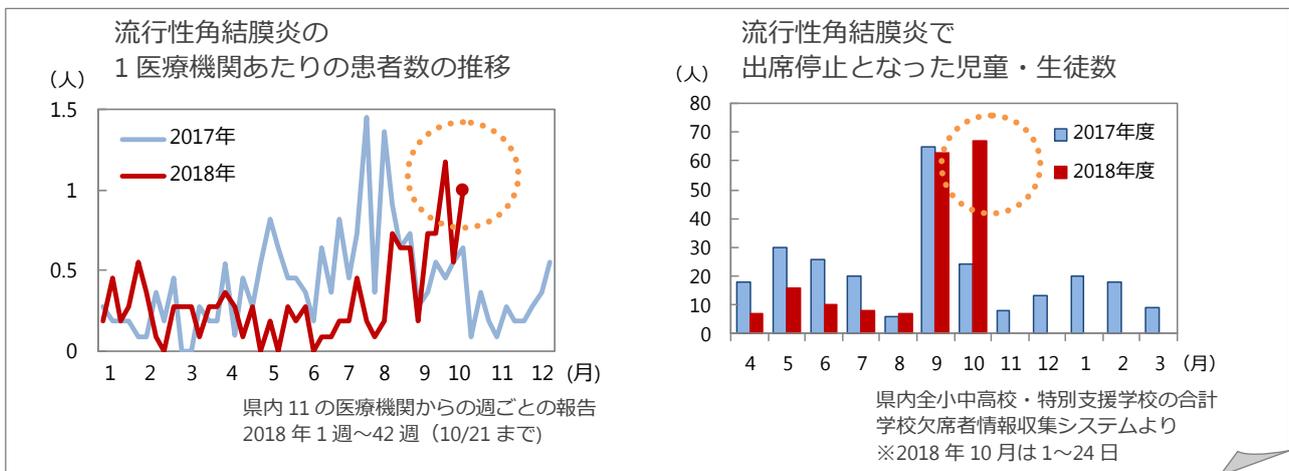
ぎふ感染症かわら版

平成 30 年 10 月 26 日 岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）



流行性角結膜炎（はやり目）が流行しています！

流行性角結膜炎は、人から人へうつる目の感染症です。
一般的に夏に流行し、今年は県内で8月中旬から患者が増加しています。
学校や家庭内で感染することが多く、子どもから大人まで幅広い年齢でかかります。
10月に入っても流行が続いており、学校では出席停止となる児童・生徒も多くなっています。今後もしばらくは注意が必要です。



どんな病気？

アデノウイルスの感染によって、目の結膜に炎症を起こします。
感染すると1～2週間後に、**結膜の腫れ・充血、目やにや涙がたくさん出る**
などの症状が急にあらわれます。

結膜炎は2～3週間で治まりますが、炎症が強いと、
角膜（黒目）の表面に小さな濁りができて見えにくくなることもあり、
この濁りは消えるまでに数カ月かかることがあります。



どう感染するの？ 予防方法は？

主に、感染した人の**目やにや涙に触れた手指やタオル**などを介して**接触感染**します。
アデノウイルスは感染力が強いため、流行時は次のことに心がけ、予防に努めましょう。

- こまめに手を洗う
- 目を拭くときはティッシュペーパーを使い、直接手で目を触らない
- タオルや目薬など、目に触れるものは個人用とし、他の人と一緒に使わない



保育所や幼稚園、高齢者施設など、希望される施設に対して「ぎふ感染症かわら版」のメール配信もおこなっています。
くわしくは岐阜県感染症情報センターホームページをご覧ください。

岐阜県感染症情報センター

